

かながわ政大新聞

県立 Academy of Politics Kanagawa-LDP

発行・編集
自由民主党かながわ政治大学校
運営委員会(第14期)
担当事務局: 加藤剛
問い合わせ先: 045-641-8723
kato@k-ldp.jp
2013.5.18/4号

第十四期運営委員会発足

吉田宣之校長からの「受講生により主体性を持つてもらい、企画・運営に携わってもらう」と目的に、第十四期の運営委員会が設置されることになった。

第十四期の運営委員会は、立候補による十名により構成され、第一回運営委員会(一月二六日)の冒頭で、加藤洋治事務局長より「特別セミナーの委員を兼務し、施設見学など企画・運営を行う」との役割説明がなされた。次いで、大木丈二氏を委員長、阿部浩幸氏、高尾俊明氏を副委員長として決定し運営を開始した。

委員会では、「全員が参加できるイベントを主体的に企画すること。受講生の勉強と受講生間の交流に役立つ特別セミナーとする」とことを共有し、具体的な取り組みについて活発な議論が行われた。

八月に予定されている特別セミナーは、関心の高い憲法問題を議題とし、二日間に渡る深い議論の場として計画中である。

今後、運営委員会は、受講生主体の取り組みとして、政大の活性化の一翼を担うこととなる。

運営委員会の委員紹介

阿部浩幸(横浜市中区・副委員長)

江森直樹(東京都新宿区)

大木丈二(横浜市神奈川区・委員長)

小田切雅義(横浜市中区)

高尾俊明(横浜市金沢区・副委員長)

高林陽介(相模原市南区)

福田健司(横浜市都筑区)

洞田慎一(逗子市)

持木秀樹(東京都町田市)



四月二十日、運営委員会主催の海上自衛隊横須賀基地見学が行われ、二〇名近い受講生が参加した。生憎の天気だったが、基地見学や軍港クルーズと充実した一日となつた。基地内では、自衛官の方から親切・丁寧な説明をいただきながら、護衛艦「やまぎり」の、普段は見られない対艦対空の各装備やCIC室、ベッドルームや食堂などの艦内の生活空間を惜しみなく見せていただいた。特に印象に残ったことは、外国軍隊より海上自衛隊

が優れている点は何かという私の質問に、「艦内が綺麗に掃除されていること」と回答されたことだ。確かに艦内は整理整頓が行き届いていた。この整理整頓があつてこそ、有事の場合に即座に対応できるものと改めて実感した。

この日、南極から戻ってきて間もない「しらせ」も間近に見られ、貴重な体験ができた。今回だけに限らず、再び見学等で訪れたいと考えている。

江森直樹(東京都新宿区)



海上自衛隊横須賀基地潜入報告

【運営委員会企画】

特集 国会見学・党本部研修会報告



雨風がかなり強かつた四月三日に課外講座である国会、自民党本部の見学会が行われた。朝九時前に衆議院側に集合し、国会見学会がスタートした。見学者の中には小学校の遠足で来た以来という人もいた。

菅議員事務所の方に案内していただきながら進み、衆議院議長室、議事堂、自民党総裁室、天皇陛下の休息所等々、普段はテレビでしか見ることができない場所を見学することができ、とても貴重な体験をすることができた。

中央政治大学院長である河野太郎先生は政治大学のあり方をお話ししてくださいり激励を頂き、石破幹事長からは野党に転じたときの思いやそして今、政権を取り戻してこれから日本をどう動かしていくべきかをお話いただいた。

この見学会を通して、政治が動いている現場に行くことができ、また議員の先生方から話を拝聴することができた。政治家を目指している受講生にとっては、自民党かながわ政治大学を支えつつ、自己を高めていくという意欲が強まつた一日となつた。

福田健司(横浜市中区)

地域の自治を守り我々がより良い生活を過ごすための黒子役の地域活動。後は人の為に尽くそうと考える者が、旗振り役として地域

長谷川琢磨(横浜市都筑区)

自民党本部では、自民党総裁室での記念撮影、総裁応接室、総裁選挙の際に使用されるホールを職員の方から説明をしていただきながら見学をした。昼食時に神奈川県内選出の国會議員の先生方が入れ替わり来ていただいて、政治を学ぶ我々に熱い胸の内を聞かせていただいた。

ところが東日本大震災以降、現場に変化が起ころっている。人とのつながりが災害時等の対処能力向上の一助になることを一般が広く知り、活動に参加し始めたのだ。各自が多岐にわたる地域活動の中から自分に合う活動を選び参加。その中で地域の問題に目を向ける。徐々にではあるが、これは大きな変化と言える。

編集後記 第十四期の講座が始まって約八ヶ月が経過しました。その間、自民党は政権を奪還しました。運営委員会も、発足後、海自見学や特別セミナーを成功させるため議論を重ねています。(高尾)

小田切雅義(横浜市中区)

「地域のリーダーへ」

【特別報告】受講生の実践活動

「石破幹事長街頭演説会報告」

春まだ早い三月の薄曇りの空の下、川崎駅、横浜駅西口、桜木町駅前にて石破幹事長の街頭演説が開催された。開始時間の一時間前あたりから徐々に市民が集まり、定刻になつたころには多くの人集りとなつた。与党幹事長の街頭演説ということで、警備にあたる警察関係者も多く、一見物々しい雰囲気の中、街頭演説が行われたが、石破幹事長独特の優しく一つ一つ説き伏せるような語り掛けに、聴衆は熱心に聞き入つていた。わが党に対する批判的なヤジもなく、最後は幹事長の握手会で大盛況のうちに幕を閉じた。

地域の自治を守り我々がより良い生活を過ごすための黒子役の地域活動。後は人の為に尽くそうと考える者が、旗振り役として地域